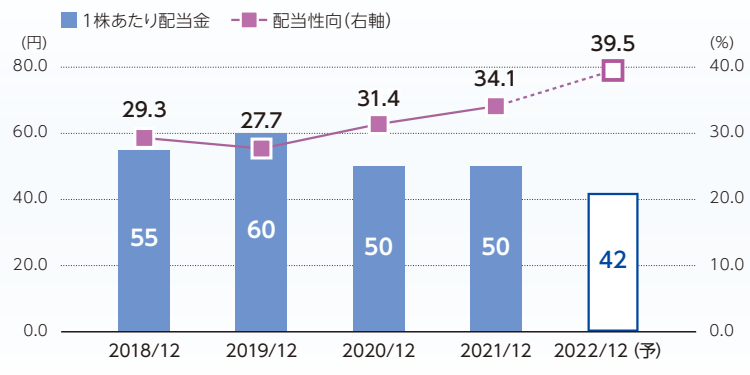


株主の皆様への利益還元について

弊社は、株主還元につきまして、今後の事業成長に必要な研究開発支出や投資を十分行った上で、内部留保は可能な限り株主還元へ充当する考えです。当期の1株あたり配当金は、1株50円(前期と同額)とさせていただきます。



株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 3月中
 株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
 特別口座管理機関 日本証券代行株式会社
 同事務取扱場所 日本証券代行株式会社 本店
 公告方法 電子公告により行います。
 ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 なお、電子公告は弊社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下の通りです。
<http://www.optorun.co.jp/>

ホームページのご案内



第23期 株主通信

2021年 1月 1日から
2021年12月31日まで

株式会社オプトラ

証券コード：6235



株式会社オプトラ

【東京オフィス(本社)】
 東京都豊島区西池袋1-11-1
 メトロポリタンプラザビル11階
 TEL: 03-6635-9487
 FAX: 03-6635-9497

【川越技術センター】
 埼玉県川越市竹野10-1
 TEL: 049-239-3381
 FAX: 049-239-3394





IoT分野の新たな成膜需要の広がり、ALD装置事業の本格的拡大に対応し、開発・生産インフラ強化・原価削減努力を行い、業績飛躍を目指します。

代表取締役社長執行役員 範 賓

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年3月、新たに代表取締役社長執行役員に就任いたしました範賓でございます。当社では、経営体制の一層の強化と充実を図り、進展著しい世界市場へのタイムリーな対応や事業の持続的な成長を可能とするため、会長・社長体制による経営力強化を行うことといたしました。これにより今後の当社事業の一層の飛躍を目指す所存です。

2021年における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、さらに資源価格高騰や半導体不足等の影響もあり、依然として企業経営にとり容易でない時期でした。

弊社業績も、売上高・利益とも、これを反映した結果となっております。

このような中で、当社グループは装置の開発・供給面で世界市場のリーダーとしての役割を果たすべく、世界で顧客の近くに開発・生産・販売拠点を持つ強みを生かし、新たな成膜ニーズの捕捉に努め、新たな成膜技術開発を進めると共に、積極的に営業展開してまいりました。スマートフォン関連に続いて、新たにIoT分野の市場需要の多様化が進展し、様々なタイプの成膜装置受注につながりました。結果として同分野の売上は全体の30%以上を占めるにいたっております。

また、ALD装置事業が研究開発段階から本格的な量産・受注に移行し、当社の事業を担う柱の一つとして成長してきました。半導体光学融合の動きは着実に進んでおり、弊社が着目し世界で初めて取り入れた新技術が、ミニ/マイクロLED・ディスプレイ・車載向け等、新たな市場を掘り起こす要因となり始めています。

生産面では、弊社グループ国内外拠点で最安価の集中調達努力を行い、また品質管理の徹底による原価改善に努めました。

利益面では、新型装置を中心に利益性の高い装置販売に注力し、円安による為替差益計上や投資先株式の一部売却等も行いました。

受注においては、新型装置を含め、スパッタ装置・蒸着装置・ALD装置等幅広く実績を挙げ、スマートフォン関連メーカーからの受注に加え、自動車関連成膜装置、5G関連の光通信向け成膜装置やLED向け成膜装置の受注を獲得いたしました。

その結果、売上高は30,891百万円(前年同期比17.6%減)、営業利益は7,025百万円(前年同期比18.6%減)、経常利益は7,901百万円(前年同期比8.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は6,330百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

2022年度は、一層の成膜機能高度化への市場の期待を新たな装置供給で実現するため、研究開発へのさらなる注力・拠点開発インフラの拡充・ALD新会社の本格立ち上げ等を実施し、中長期的な弊社グループの成長を確かなものとする地道な事業基盤強化・技術による市場開拓・業界リーダーとしての事業関連分野の拡大を目指し、取り組んでまいります。

また、今後の事業成長に必要な研究開発支出や投資を十分行った上で、内部留保は可能な限り株主還元を実施してまいりたいと考えます。当期の1株あたり配当金は、1株50円(前期と同額)とさせていただきます。

株主の皆様には、引き続き、弊社グループへのご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

新たな成膜技術の展開による新規装置需要の喚起、開発・生産インフラ強化による開発スピード加速・さらに装置収益性の向上を通じ、高度薄膜装置事業で世界市場をリードします。

1 新型装置でIoT分野の需要を喚起

車載関連・AR/MR・生体認証・5G光通信等、新型装置開発による新たな市場ニーズ掘り起こし。

2 ALD装置事業の本格化と開発・生産インフラ強化

スマートフォン・IoT関連の新たな高度成膜ニーズに応え、ALD技術を世界で初めて光学薄膜と融合し、装置開発を加速。上海にALD開発・生産会社を立ち上げ、半導体光学融合技術の装置反映・本格的な事業展開を目指す。

3 グローバルリーダーとして新たな技術に挑戦、技術力で優位性確保

新たな3D光学薄膜技術の進化を実現し、また、ALD・エッチング技術等を光学半導体融合技術として取入れ、多様な市場の高度薄膜ニーズに最先端で対応し、装置提供。

4 成長を支えるインフラ基盤構築

日本・上海・台湾の各拠点で研究開発施設拡充を行い、さらに生産ラインの効率化/品質向上の不断の努力を続け、開発・生産能力で他社比競争優位を確保。

5 品質向上・調達コスト削減による顧客満足度向上・収益力強化

装置品質改善に取り組み、部品は国内外拠点連携によるグローバル調達を行う。生産効率化/品質管理改善/部品調達の効率化により、事業収益力強化を実現。

6 SDGs/ESGへの取り組み

装置生産効率改善・省エネ化に取り組み、併せてCO₂削減・TCFD開示等社会の要請に率先して応える。

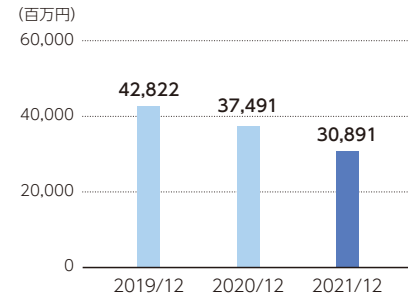
Pick Up

研究開発能力向上に向けた取り組み

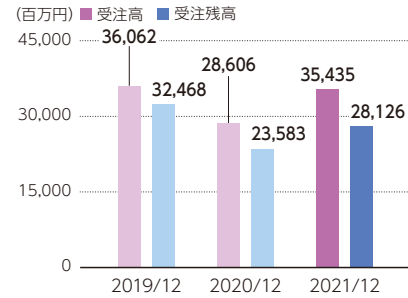
光馳科技(上海)有限公司の第3棟が完成し、稼働を開始しました。2つの工場に分散していた研究開発機能を第3棟に集約し、研究開発活動を大幅に効率化します。



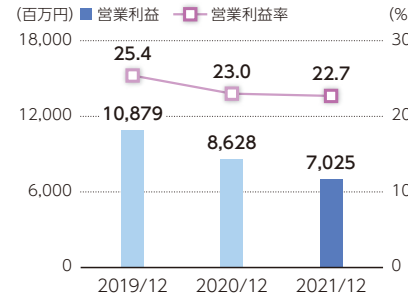
売上高



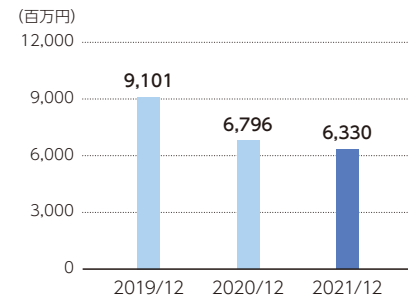
受注高／受注残高



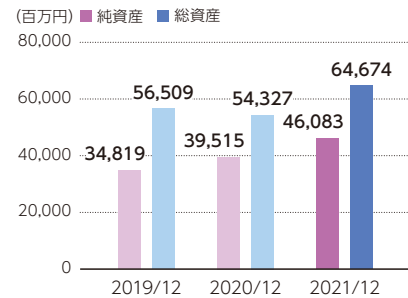
営業利益／営業利益率



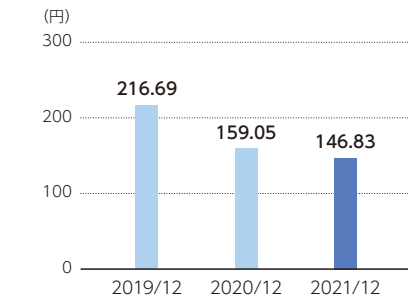
親会社株主に帰属する当期純利益



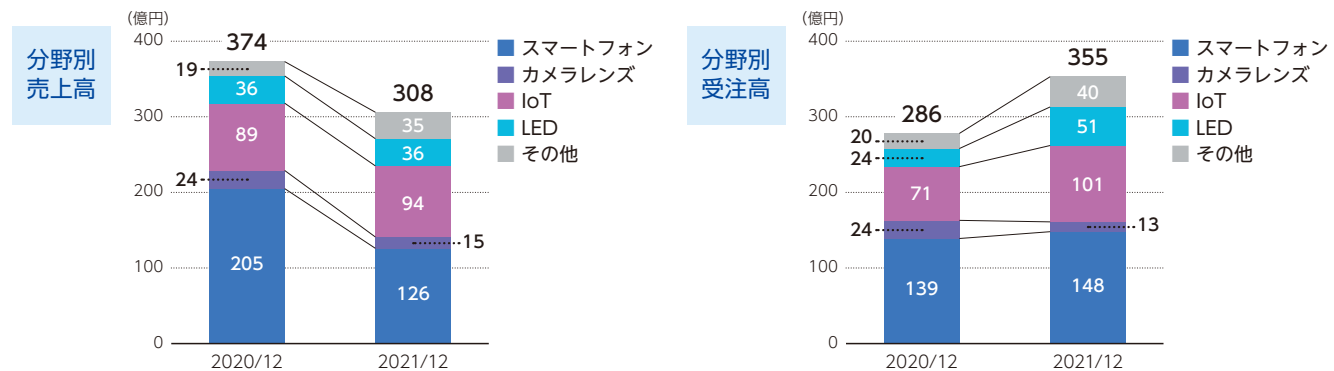
純資産／総資産



一株当たり当期純利益



分野別売上高・受注高



貸借対照表 (百万円)

	2020/12	2021/12
資産の部		
流動資産	44,571	53,145
固定資産	9,755	11,529
有形固定資産	3,193	4,526
無形固定資産	821	677
投資その他の資産	5,739	6,325
資産合計	54,327	64,674
負債の部		
流動負債	13,654	17,056
固定負債	1,157	1,534
負債合計	14,811	18,591
純資産の部		
株主資本	40,181	44,013
資本金	400	400
資本剰余金	9,819	9,454
利益剰余金	30,053	34,235
自己株式	△ 91	△ 75
その他の包括利益累計額	△ 692	2,056
非支配株主持分	26	13
純資産合計	39,515	46,083
負債純資産合計	54,327	64,674

損益計算書 (百万円)

	2020/12	2021/12
売上高	37,491	30,891
売上原価	22,809	17,502
売上総利益	14,681	13,389
販売費及び一般管理費	6,053	6,364
営業利益	8,628	7,025
営業外収益	261	979
営業外費用	279	103
経常利益	8,609	7,901
特別利益	69	930
特別損失	1	59
税金等調整前当期純利益	8,677	8,773
法人税、住民税及び事業税	2,101	1,828
法人税等調整額	△ 228	611
当期純利益	6,804	6,333
非支配株主に帰属する当期純利益	7	2
親会社株主に帰属する当期純利益	6,796	6,330

キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

	2020/12	2021/12
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 535	10,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,047	375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,466	△ 2,735
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 197	1,224
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 4,247	9,550
現金及び現金同等物の期首残高	26,969	22,722
現金及び現金同等物の期末残高	22,722	32,273

(2021年12月31日現在)

株式の状況

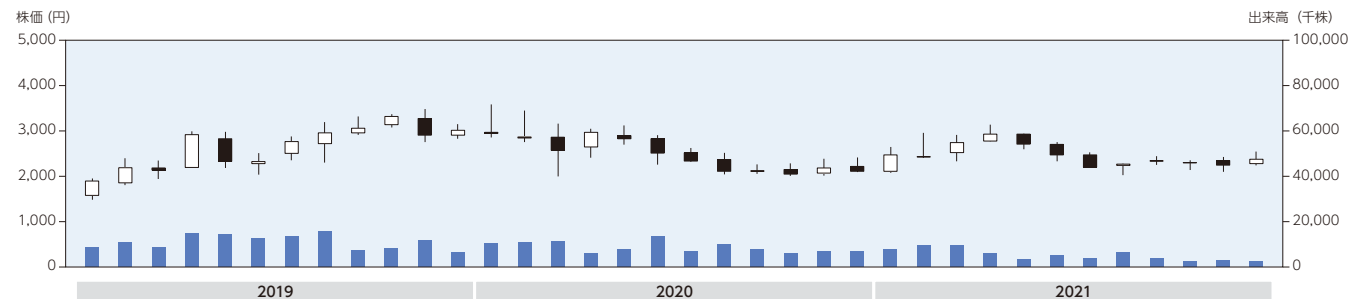
発行可能株式総数 177,432,000株
 発行済株式総数 44,358,000株
 株主数 9,466名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
浙江水晶光电科技股份有限公司	6,507	15.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,390	12.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,262	9.86
孫 大雄	2,503	5.79
JSR株式会社	2,310	5.35
株式会社アルバック	1,038	2.40
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	933	2.16
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS	917	2.12
林 為平	774	1.79
肖 連豊	618	1.43

(注) 1. 弊社は、自己株式を1,141千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価・出来高の推移(月足)



(2021年12月31日現在)

会社概要

会社名 株式会社 オプトラン
 (OPTORUN Co.,Ltd.)
 住所 【東京オフィス(本社)】
 東京都豊島区西池袋1-11-1
 メトロポリタンプラザビル11階
 【川越技術センター】
 埼玉県川越市竹野10-1
 設立 1999年8月25日
 資本金 400百万円
 事業内容 光学薄膜装置等の製造販売

マネジメント体制(2022年3月29日現在)

取締役			監査役	
取締役(会長)	林 為平		監査役	小林 信一
代表取締役	範 實		監査役	佐々田博信*
取締役	山田 満男		監査役	片山 律*
取締役	林 敏*		執行役員	
取締役	樋口 武*		社長執行役員	範 實
取締役	山崎 直子*		常務執行役員	奚 建政
取締役	瀧口 匡*		常務執行役員	小田木秀幸
諸役			執行役員	山田 満男
名誉会長	孫 大雄		執行役員	久保 昌司
上級顧問	高橋 俊典			*は社外

主なグループ会社

